

H20.10.6 設楽ダム魚類検討会 議事概要

○日 時:平成20年10月6日(月) 13時30分～17時30分

○議事概要:

表 H20.10.6 魚類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
1. 魚類検討会の経緯について	・過去の検討経緯について確認した。	・今後立ち上げる環境検討委員会との関係について説明して欲しい。	・事務局:豊川水系のネコギギについては魚類検討会で検討し、環境検討委員会に報告する。
2. 豊川水系のネコギギの保全について	・豊川水系全体のネコギギの保全のあり方について事務局(案)を提示した。	・ネコギギの保全の方向性について、保全に関わる生態的情報についての意見も必要だが、委員会の進め方、他の委員会との関係についても整理頂きたい。	・事務局:改めて整理する。
3. 平成20年の野外実験について	・平成20年度の野外実験結果の報告及び今年度の放流計画(案)について事務局(案)を提示した。	・実験対象集団の個体が激減しているが、減少の要因について、可能な範囲内で推定して整理すること。 ・野生集団が減少している状況で放流実験を行うことについて、是非も含めて対応を示すこと。	・事務局:ネコギギの減少理由は不明であるが、出水の影響が大きいと考えられる。疾病の可能性も確認する。 ・事務局:今後の放流の方針として、個体数や時期、管理方法等をとりまとめ、再度ご意見を伺う。 (事務局:今後の野外実験計画を再度提案し、内容について各委員からの了解を得た。)
4. 人工水路実験について	・人工水路実験の進捗状況について報告した。 ・予備実験として行った、カメラの設置方法、個体識別タグの装着方法等について説明した。	・行動の記録はどのように行うのか。	・事務局:ビデオでギギの環境選択を確実に抑える。礫の中の行動は、ガラス面から見られる範囲で行う。行動についても可能な限り記録する。
5. 支川のポテンシャルについて	・ネコギギの生息環境の再生候補地である支川の生息ポテンシャルの検討結果について報告した。	・支川のハビタット適性について問題はないか。 ・生息可能淵の適性について、淵間の連続性などの検討を想定しているのであれば内容についての説明をしてほしい。	・事務局:水質の影響や水温が下がる要因などについて、流入河川の調査等で詰めて行く。 ・事務局:単独淵での集団の存続のために、ネコギギが生息する区間で個体群動態、物理環境変動、遺伝的解析を含めた検討を行う。
6. ダム下流の保全について	・ダム工事中及び供用時のダム下流河川における、影響予測と保全対策、対応方針について説明した。	・ダム下流の影響と対策について、重要なものに絞って今後議論して行くのか。	・事務局:ネコギギの生息に影響を及ぼす環境要因を抽出し、実施可能で最適なモニタリングシステムを作成していく。
7. 平成20年度モニタリングについて	・速報として、春季のネコギギの個体群調査結果、夏季の繁殖状況調査結果について報告した。	・特になし	・事務局:速報のため秋のデータが入っていないので、次回以降の検討会で再度検討して行く。
8. 今後の調査・検討計画について	・ネコギギの保全に関する今後の調査計画案を示した。	・今後の計画について、調査や検討、対応をどのタイミングでやるのか、スケジュールを描いておくことが必要である。	・事務局:保全のためにどのようなステップが必要か、また次のステップへの移行のタイミングも押さえ、スケジュールを組む。